

Albirex Racing Team

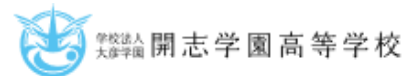
2018年 全日本フォーミュラ3選手権 シリーズ

第5戦 / 第6戦 (富士スピードウェイ) レースレポート

Race Report

Japanese Formula 3 Championship

Round 5 / 6 FUJI Speedway



大会概要

2018年 全日本フォーミュラ3選手権 第5戦 第6戦

大会名称

2018 全日本F3選手権シリーズ 第3ラウンド

開催日

2018年 7月7日(土) 予選 / 第5戦決勝
7月8日(日) 第6戦決勝

開催サーキット

富士スピードウェイ 1Lap=4.563Km
出走:15台(Nクラス1台)



#14 Albirex-RT

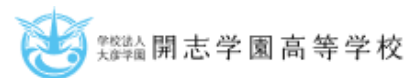
ドライバー:根本 悠生
Driver Yuki Nemoto

出身地:東京都

生年月日:1996年 9月22日

身長/体重:175cm/70kg

血液型:O型



RACE REPORT

専有走行① 2018/ 7/ 5(木) 結果 Pos 2 Time 1' 50.985 / Laps 29 / Ave.Km/h 148.009

専有走行② 2018/ 7/ 6(金) 結果 Pos 8 Time 1' 52.314 / Laps 29 / Ave.Km/h 146.258

専有走行は両日ともウェットコンディションとなりました。コースは時折、非常に強い雨が降ることもありましたが赤旗による中断はなく雨を得意とする根本選手は、Newスペックのウェットタイヤのデーターとセットアップもない状態でありながら、いきなりP2を獲得しました。

公式予選 2018/ 7/ 7(土) 8:30～ 結果 第5戦 6位(14/14Laps) 第6戦 6位(13/14Laps)

Weather : Rain Track : Wet

Rd.5 Qualify Time : 1' 53.276 Ave.Km/h : 145.016

Rd.6 Qualify Time : 1' 53.372 Ave.Km/h : 144.893

予選開始時刻には雨が弱まり、コース状況はWetではあったが水量はかなり少ない状態で挑み根本選手は今季最高位の6位を獲得しました。その後、決勝前に路面は急速に変わり、Dryコンディションでの決勝スタートとなった。

第5戦決勝 2018/ 7/ 7(土) 13:30～ 結果 9位(15Laps)

Weather : Cloudy Track : Dry

Rd.5 Race Time : 24' 32.065 Best Lap : 1' 37.164
Ave.Km/h : 166.641

第6戦決勝 2018/ 7/ 8(日) 10:15～ 結果 8位(21Laps)

Weather : Cloudy Track : Dry

Rd.6 Race Time : 34' 18.390 Best Lap : 1' 36.935
Ave.Km/h : 167.057

Rd.5 スタートでポジションアップを狙うも順位は変わらず、6番手で周回を重ねるが、車のバランスが悪く後続に抜かれていき9番手でフィニッシュとなった。

Rd.6 スタートの混乱の中、ポジションを1つあげ5番手でOPラップを通過するもその後順位を下げていき8番手でフィニッシュとなる。

第5戦、6戦ともに今戦は結果的に天候に翻弄される形となり走行データの集積とセッティングを入念に行ったが想定よりも大きく外してしまい、非常に悔いが残る結果となってしまった。

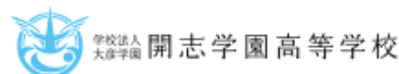


MOTOR FREAK



sugar

GIA 専門学校 新潟国際自動車大学校



根本悠生選手 コメント

全日本F3選手権 第5戦&第6戦 富士スピードウェイ

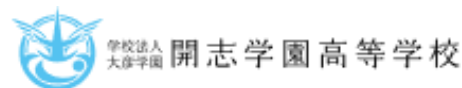
前回の菅生戦から約一ヶ月のインターバルを経て迎えた富士戦。前回の菅生では9位&7位を獲得していることもあり、今年初のポイント獲得を目標に戦いました。この週末は丁度西日本が豪雨に見舞われた時期でした。

この大規模災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この大災害をもたらした雨雲の影響で、富士スピードウェイも不安定な気候となりました。木・金曜日に行われた練習走行では、雨脚が強くなったり弱まったり一時は晴れ間も覗くなど難しいコンディションとなり、車のセットアップを正しく煮詰めていくのが非常に困難な走行でした。そんな中でも木曜日には総合2番手に食い込むなど、ウェットコンディションでのポテンシャルの高さを発揮することができました。

土曜日に行われた予選は、雨が夜中のうちに降り止んだことによるドライコンディションでの走行となるかと思われた矢先、開始直前に降った雨によりレインコンディションへ。しかしタイヤと雨量のマッチングに苦勞し前半はタイムを伸ばすことができず一度ピットインし、ニュータイヤに履き替えたところでタイムアップをすることができ、最終的に第5戦・第6戦共にワークス勢に続く6位を獲得することができました。金・木曜日に様々なコンディションでテストを重ねていたということもあり、2位まではいかなかったものの予選では過去最高位を獲得し、初のポイント獲得も十分に可能な位置につくことができました。

(次頁へ続く)



(根本選手コメント続き)

予選まではウェットコンディションだったものの、決勝は2レース共に一転してドライコンディションへ。通常であれば木曜日から徐々にセットアップを煮詰めていくのですが、今回はいきなりのレースということで、前回の菅生戦でのデータを基にした持ち込みセットアップで戦うこととなりました。決勝スタート前のウォームアップ走行の時点でかなり車が求めていたものとは違う方向にすることがわかりグリッド上で可能な限り修正を試みましたが根本的な解決には至らず。コーナリングが不安定な状態だったことでストレートスピードも伸びず、防戦一方な展開になってしまいました。

日曜日に行われた第6戦でも、大幅なセットアップ変更により改善方向ではあったものの、同じような症状を抱えたままの戦いとなりました。さらにはブレーキ関係、バックミラーにもトラブルを抱えてしまい、最終的には9位&8位となりました。

前回の菅生戦から予選までの流れは非常に良かったものの、ドライコンディションでの車のバランスに非常に悩まされた週末となりました。テストができなかったことを考慮しても、本来のポテンシャルを全く発揮できなかったことが非常に悔しいです。しかし菅生戦・富士戦で得たデータを基に、次戦の岡山ではいよいよ初ポイントを獲得できるようチーム一丸となって頑張ります。

引き続き根本悠生とアルビレックスRTの応援を宜しくお願い致します。

根本悠生

中村監督 コメント

エンジニアをはじめ、メカニックやチームスタッフも最大限努力をしてくれましたが、しかしチームとして足りない部分があると実感し今回は大変悔しいレースとなりました。

根本選手は最大限の能力を発揮してくれましたが、すべて戦略が裏目に出てしまい、ドライバーもチームも大変苦しい展開となりました。

まだまだチーム全体の底上げをしなくてはいけないと感じ、全て監督である私の責任だと痛感しております。

しかし、雨の中で臨んだフリー走行では2番手タイムを出すなど収穫はありました。

まだまだ日々の努力が必要です。次戦岡山はしっかり整えて挑戦したいと思いますこれから応援お願いいたします。



学校法人 開志学園 高等学校

